

財団法人語学教育研究所 所長賞

「A New Experience」(スピーチ)

熊本県・熊本大学教育学部附属中学校2年 中山裕美子

ボストンの英語学校で「日本人はおとなしいね」と言われた経験をもとに、「おとなしい」と言われる理由を明確に3つにまとめています。英語は正確に話せればよいだけではなく、「積極的に話す」ということがいかに大切かが、文章のみならず裕美子さんのスピーチの迫力からも十分に伝わってきました。

A New Experience

Yumiko Nakayama

I had a good time this summer. I went to Boston and studied at an English school. I met students from many countries. It was a great experience for me.

(中略)

The experience this summer changed me. I learned a very important lesson about communicating in English. We must not only learn to speak correctly, but also, to speak actively. I will keep studying English, and I will be more assertive when speaking with foreigners.

●暗唱や朗読の題材は無理して難しいものを選ぶよりも、内容を理解した上で、元気に声で発表する方が上手に発表できます。

●日本と日本以外の国を比較する場合、どうしても相違点が目立ちますが、違いを強調するだけでなく、共通点や自分の考えを出してみることも大切です。

優秀指導者賞

「小学校英語学習のあり方—誰でも、どこの学校でもできる学習を求めて—」(論文)

愛知県・西尾市立寺津小学校 高橋正治

小学英语をととして研究開発指定校をぐんぐんひっぱり、どれもが認める素晴らしい実績をあげている高橋先生の実践論文が、満場一致で選ばれました。

優秀賞

「Mr Gumpy's Outing」(朗読)

大阪府・聖母被昇天学院小学校5年
大軒 順子

「Cat! Cat! Cat!」(暗唱)

沖縄県・那覇市立天妃小学校1年
TEC 英語教室 上原 新翔

「Pioneers<Life in 1800's>」(自由研究)

愛知県・愛知教育大学附属岡崎小学校5年
川本 奈歩

「All About Myself」(スピーチ)

千葉県・聖徳大学附属小学校5年
鈴木 嶺

「わたしの夏休み'99 CAMP Adventure Tokyoにさんかして」(自由研究)

岐阜県・美濃加茂市立古井小学校3年
武田 海里

「日本語と英語どちらが難しいのか?」

(自由研究)

大阪府・大阪教育大学附属天王寺中学校2年
江波戸 翔一

「THE JINNAN」(自由研究)

兵庫県・姫路市立神南中学校
神南イングリッシュクラブ

優秀指導者賞

「コミュニケーションを図る意欲・能力を高める授業づくりの工夫」(ビデオ)

兵庫県・姫路市立神南中学校 稲岡章代

コミュニケーションを図る意欲については、小学校よりも難しい時期にあたる中学2年生の生徒達の表情が、授業が進むにつれてみるみる変わっていく様子が高く評価されました。

中央出版株式会社 社長賞

「カナダと日本」(自由研究)

愛知県・愛知教育大学附属岡崎小学校6年 大塩由利香

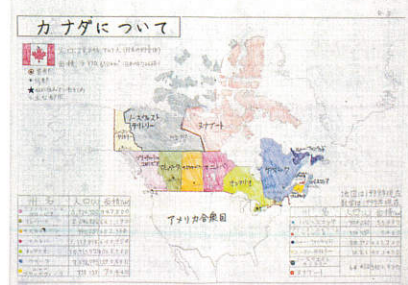
カナダの小学校に4年半、日本の小学校に1年通ってみて発見した日本とカナダの違いを日常や学校での生活の細かい部分まで、て

いねいに比較・考察しています。

由利香さんは、実際の体験を通して感じた日本とカナダの違いから、なぜ違いが生じるのかを深くほりさげ改善点を提案しています。

また漢字もたくさん使われていて、日本語の文章力の点においても非常に高い評価を受けました。

州ごとの面積や、由利香さんが住んでいたケンブリッジの位置を紹介した地図



●授賞式にて



みんなの前でいっしょうけんめい朗読してくれた優愛子さん。どうもありがとう!

文部大臣奨励賞

「DRIPPY」(朗読)

大阪府・大阪市立下新庄小学校2年 マック英会話教室 平井優愛子

優愛子さんの朗読テープを聴いたときは、本当に耳を疑いました。

審査の先生方も「長期間の英語圏在住経験があるのでは?」とおっしゃるほどネイティブスピーカーなみのすばらしい朗読だったからです。

優愛子さんが初めて英語と出会ったのは、まだお母さんのおなかにいる頃で、現在は2才の頃から通っている英会話教室でネイティブの先生と楽しくレッスンをしているそうです。

英語圏の在住経験なしで上達する発音レベルの常識をくつがえすこの作品は、群を抜いて高い評価を受けました。

●先生のご講師

朗読・暗唱・スピーチでは「日本語にない英語特有の発音が正しく発音できているか」「語と語の連結による音変化・強勢・イントネーションは正しくできているか」などが評価の基準としてあげられます。

優愛子さんはその両方の点で優れた評価を受け、すぐに文部大臣奨励賞は決定しました。

「DRIPPY」の物語のように、いろいろな所について、いろいろなことにチャレンジし、そして英語を通して「こんなことを経験したよ。」とわたしたちに報告できるように、これからもがんばってください。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

「What I learned in America」(スピーチ)

兵庫県・神戸海星女子学院中学校2年 Global English House 大内麻由

発音のすばらしさ以上に声の大きさやアクセントの強弱から「相手に理解してもらおう」とする姿勢がはっきりと伝わってきました。ホームステイでの経験を通して、自分の国の事や文化を知らずしては真の国際人とはいえないということ、を、2分以内で非常にわかりやすくまとめています。

What I learned in America

Mayu Ouchi

"What do you want to be in the future?" When I was asked this question, I always answered like this, "I want to be a good speaker of English and a 'kokusai-jin', an internationally minded person. Because I thought if I could speak English fluently, I could become a 'kokusaijin'. However when I stayed with an American family this summer, I found out what was really necessary to be internationally minded.

On the second day of my homestay, I gave the host parents a "maneki-neko", a lucky cat, as a gift from Japan. I could tell them what it was somehow but I could not explain its original meaning when they asked me. I had no idea about it.

I also brought origami to show Japanese culture. When I was showing them how to make origami cranes, they asked me, "Do you know Sadako? Who is Sadako? Again, I had to say, "I don't know." Sadako is a girl who was making origami cranes until she died from the Atomic Bomb in Hiroshima. Her story is very famous in the U.S.A., but I didn't know her at all. Can you imagine how I felt? I was so ashamed of myself as I didn't answer any questions about Japan.

Thanks to the host family, I had a wonderful time there. I'd like to thank them especially for letting me know this important thing; without knowing our country and its culture, we can't call ourselves "kokusai-jin".

Let's learn English but first let's learn more about our country.

今年で二年目の英語部門は応募作品が著しく増えたとともに、レベルの高い作品が数多く寄せられ、非常に驚かされました。スピーチや自由研究の内容もバラエティ豊かで、一人一人の興味が多方面に広がっている印象を強く受けました。小学校の英語に関しては、現在すべての学校でとりいれられているわけではなく、もちろん教科書も存在しないため、先生方が試行錯誤しながら取り組まれている現状が、作品を通して伝わってきました。しかし熱心に指導するあまり、先生のくせが児童にうつってしまっている作品もいくつか見受けられました。授業やレッスンのなかで、ネイティブスピーカーの発音が良質の音声教材を慎重に選び、どんどん聴かせてあげてください。そして英語を楽しく学び、気軽に英語部門に応募していただける児童・生徒のみなさんが、ますます増えていくことを次回も期待しております。

abc

英語部門